

## 6月28日(水)意見交換会 参加者33人 場所 飯南コミュニティセンター

### ○認定こども園について

Q、認定こども園という発想が松阪市に起こったいきさつを教えてください。

A、松阪市は幼保の住み分けができています。飯南・飯高地域には幼稚園がない。単独で幼稚園を増やすことは無理である。

仕事をしていなくても子どもが集団保育を受けられる。

仕事をしていなくても子どもが入園できる機能の園を作るのはいかがでしょうか。

市民からの要望で行政が動くのではなく、市から提案をさせていただく。

Q、就労状況で決まるのか。

A、そういう側面はある。例えば、母が途中で仕事をしなくなっても園をかわることはない。逆もある。

Q、一クラス15人の少人数で、遅番で迎えに行くと3人ほどしかいないということもあった。人数的にも集団で過ごすことが難しいのではないのか。

A、幼稚園籍の子ども、保育園籍の子どもの数の割合がどうかによる。幼稚園籍の子どもがそんなにたくさんではないと考える。

Q、保育園の行事に参加するのに、仕事を中抜けしていた。終わったら連れて帰る子どもが多かった。地域の現状を知っているのか。

A、今、16時30分以降の迎えになるお子さんは15名ほどある。

行事で連れて帰られる方も多く寂しい思いをさせるという母の思いもあった。普段以上にそのクラスでじっくりとかかわったり、異年齢で遊んだり、配慮してきた。認定こども園となっても保護者の思い、心配などしっかり受けとめていく。今も同じである。

Q、仕事復帰をするのに、大石幼稚園にするか、飯南たんぼぼ保育園に入園させるか悩んだので、認定こども園があったらどうだったかと考える。

飯南にどれくらい入りたい子がいるのか。

認定こども園の幼稚園籍の子どもは預かり保育はあるのか。プラス料金なのかを考えると保育料と変わらないのではないのか。

A、今、幼稚園は19園（三雲地域2園、嬉野地域4園、旧市内地域13園）あり、嬉野地域の保育園は預かり保育をしている。就労証明、別途保育料も必要である。

幼稚園の保育料は年間総額が決まっています。12か月で割っているので、8月も保育料が発生している。意見として、預かり保育の希望があるのであれば考える。

1号認定の子ども、2号認定の子どもの割合で変わってくる。

大台町は1号認定の対象児がいない状況でも認定こども園である。

保護者会総会、行事等で説明させていただき、意見を聴きたい。

Q、飯南の保育園が成り立っていくのか不安である。

やまなみ保育園、飯南たんぽぽ保育園、飯南ひまわり保育園はとてもきれいな保育園である。集約されていくことはないのか。

A、3園の統廃合の話ではない。子どもの数はそれぞれ50人ほどで推移しているので、今は考えていない。個々の保育園に認定こども園の機能をつけてはどうかということで意見を求めている。飯高と飯南の対応は別でいいが、飯南の2園の対応は同じ方向がいいのでないか。別でもいいという意見をもらったら考える。

みなみ保育園は20人を切っているので、考えなくてはいけない。

Q、県内の認定こども園が5つある。現場（子ども、保護者、保育士）の声をフィードバックしてから検討してほしい。デメリットをメリットにかえ、これ以上のものを求めたい。この地域の特色を生かし、いい方向へして行ってほしい。

A、視察をし、フィードバックする。

Q、今、3歳児2歳児で保育園に預けている。3人目を妊娠したら退園か。

A、職場を退職されるなら退園となる。

在園中であれば、職場の制度で育児休暇制度を利用する場合は在園可能である。

3人目の育児休暇後の入園手続きも必要である。

認定こども園ならば、退職しても保育園籍の2号認定が幼稚園籍の1号認定になり、在籍してもらえる。

Q、市内から引っ越してきた。今の保育園で十分してもらっているので、認定こども園になってほしくない。保育士の負担が子どもへ悪影響にならないようにしてほしい。今の少人数ではデメリットが大きい。

保護者会や地域の家庭にアンケートをとり決めていけるのか。

旧市内でも認定こども園の計画はあるのか。

A、基本方針が策定され、認定こども園を含めて検討となっている園に説明をしている。

みなみ保育園、大石幼稚園、つばな保育園、射和幼稚園、大河内保育園はまたグループの検討をし、説明に行く。

市内は幼保があり、認定こども園は作れない。定員が多く、在籍数もいっぱいである。統廃合は考えている。

飯南、飯高地域は幼稚園がないので説明にきた。平成30年度4月～スタートするしないではない。また、多数決で決まるものではないと考える。

Q、祖母代表として申し上げたい。とても地域性がある。昭和30年頃ポストの数ほどと言われていた10か所の保育園は2か所になり、そこで保育士をしていた。

幼稚園と保育園の違いをわかっていない方がほとんどであり、認定こども園と言われてもわからない。まだ説明が難しい。

孫は今、18時まで保育をしてもらっている。私は学童保育の保育士として働いている。

遅番で保育をしてもらい寂しい思いはしていないと思う。

認定こども園は保育の必要な子、保育を期待する保護者にとっていいのでないかと思

う。土曜日、お盆、年度末の保育もしてもらいやすいのでないか。この件は認識してもらっていないことも多いのでないか。たよりに記載しないので貼り紙、白板をしっかりとみてるようにもなった。これを提供してもらえるとという期待をしたい。

A、認定こども園はこうですと示していく必要がある。説明が必要である。

#### ○保育内容について

Q、認定こども園で幼稚園の子と保育園の子は一緒のクラスで過ごすのか。

A、同じ保育室になる。

Q、教育的要素があるのか。例えば、英語、リトミックなど保育園の子も受けられるのか。

A、各園でゲストティチャーを迎えての体験もあるが、勉強をするのではない。

一日の生活の中で発達をおさえ、保育するのは保育園も幼稚園も同じである。

Q、2時にお迎えの子どもがあるのは慣れていくだろう。ただ、長期の休み、日々のPMの活動のことを考えると、同じクラスの中で経験ができない子どももでてくるのでないか。

Q、活動の差がうまれてくるのでないか。例えば、園外保育に行き、1号認定の子どもは2時に帰ってくるのか。子どもの負担を考えるとデメリットしか浮かばない。これがすべてである。

今の認定こども園へ通っている保護者の意見が聞きたい。状況を教えてほしい。認定こども園を視察してから、説明してほしい。

A、認定こども園の状況をフィードバックをする。

Q、子どもが第一である。急いで認定こども園にする必要はあるのか。デメリットが気になる。

A、課題、不安要素があると感じる。

認定こども園は都市部の待機児童対策で始まった。旧市内では今、保育園幼稚園がそろっているので、認定こども園にはならない。

Q、認定こども園になった時の保育士の負担はどうか。

A、そんなにかわらないと思う。子どもの気持ちを大切に、早く保育園に行きたいという集団の場でありたいと思う。

何らかの研修は必要かと思うが、安心して来てもらえるように積み重ねたい。

Q、子ども子育て新制度の時に、保育士に聞いても書類をみてもわからなかった。保育士にしっかりと説明をしておいてほしい。役所に行くのには時間もなくハードルが高い。気軽に聞きやすいのは保育士である。制度はおろしてほしい。

A、説明していく。